雲仙市観光マーケティングレポート 2025年10月号

UNZEN City Tourism Marketing Report

2025 October



今月の風景 くうじの灯りフェスタの様子(9/21~10/7開催)

UNZEN Destination Service



【今月の観光動向と秋季傾向】

9月は県外・ファミリー層の来訪が増え、「温泉×自然」を目的にした滞在が顕著に。来訪理由の上位は「温泉」「自然景観」が大幅に上昇し、雲仙のコア資源が再評価された。一方で宿泊者数は前年同月比88%と減少。他温泉地が好調な中、雲仙では現地体験・交通・情報提供面の課題を改めて認識。旅ナカ体験の充実が今後の鍵となる。

宿泊・日帰り共に昨年度より約10%減

来訪者数の減少には、宿泊施設の改修工事による宿泊インフラの一時的な縮小や、天候不良の影響があったと考えられる。一方で日祝のみ昨年対比増となっているため平日及び土曜日の集客に対して施策を検討する必要がある。

「温泉×自然」評価の上昇

来訪理由として「温泉」63%→75%、「自然景観」24%→31%へ大幅上昇。 夫婦・家族層の宿泊が増え、雲仙のコア資源がより高く評価。

冬の宿泊のカギは「食事・グルメ体験」「レジャー・体験」

来訪目的では"食"や"体験"の期待値が低いにも関わらず、実際には満足度が高い。 これは、「期待を超えた体験提供」に成功しているカテゴリであり、今後のプロモーション軸として強調すべき部分。

■ 年間訪問客数推移(2022年からの推移)

- ・訪問者数は約12.4万人と前年よりも下回った(2024年9月訪問者:139,413)。
- ・来訪者数の減少には、宿泊施設の改修工事による宿泊インフラの一時的な縮小や、天候不良の影響があったと考えられる。

訪問客数	全体	日帰り	宿泊※
前月比	75% 😉	75% 🔰	75% 😉
前年同月比	89% 😉	90% 😉	88% 🔰



9月の日別訪問客数推移

今月の平均来訪者数は、曜日による差が顕著に表れている。前月比では平日・土曜が減少する一方、日曜・祝日は増加しており、前年同月比でも平日・土曜が減少、休日の来訪が堅調に推移している。土日に近い曜日が祝日になっていたこともあり、旅行がしやすかったことが要因と考えられる。

	平日	土曜	日·祝
今月平均	2,939人/日	5,642人/日	7,188人/日
前月比	62% 🔰	86% 😉	112% 🖊
前年同月比	88% 😉	87% 😉	102% 🖊



シーカヤック体験会 in小浜温泉

10月14日(火)、会員様を対象とした体験会を開催しました。 あいにくの雨でサンセットタイムの体験は叶いませんでしたが、日中の 時間帯に橘湾の雄大な景色を海上から満喫していただきました。 体験会では、雲仙観光局のスタッフがガイドを務め、備品の確認や 緊急時の対応など安全対策を徹底して実施。

参加者からは「指導が的確で安心して楽しめた」「またやってみたい」とのお声をいただきました。特に好評だったのは、海中で温泉を感じられるという小浜ならではの特別なポイント。温かい温泉が海中に湧き出す不思議な感覚に「感動的だった」との声も!この小浜温泉シーカヤックは、ご宿泊者やお客様におすすめいただける、心に残る特別なアクティビティです。ぜひご紹介ください!

体験会の様子と体験詳細はコチラから▶





ミヤマキリシマ環境保全プログラム

10/11 (土) 今回もミヤマキリシマ環境保全プログラムを、メットライフ生命様のご支援のもと、ミヤマキリシマの下草刈りを実施しました。当日は秋とは思えない快晴で暑いくらいでしたが、参加者の皆様は一生懸命に、大変きれいに作業を進めてくださいました。

春に美しい花をつけるミヤマキリシマを未来へ引き継ぐため、 池之原園地にて、ツタや雑草の刈り取りに奮闘。予定より早く 作業を終え、その後は、Lion Jのお弁当を美味しくいただきま した。皆様の力が集まり、今年もミヤマキリシマの環境保全を 行うことができました。ご協力に心より感謝申し上げます。





地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業のFAMツアーの様子

地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業とは?

観光庁が、今後のインバウンド(訪日外国人旅行客)の本格的な回復を見据えて、都市圏だけではなく地方にその誘客を促すために、エリアを 絞り、5つの観点(ウリ、コネ、ヤド、ヒト、アシ)のレベルアップを軸に集中的な支援を実施する事業です。令和5年に雲仙・阿蘇・鹿児島地区が 選ばれ、現在3エリア合同で「九州ボルケーノツーリズム協議会」を立ち上げ、事業を進めています。

• 全体の行程

9月27日(土)~10月4日(土)の8日間にわたり、欧米豪の高付加価値外国 人旅行者向け旅行会社5名を招いたFAMトリップを実施しました。福岡をスター ト地点に、「雲仙→阿蘇→鹿児島・霧島」を巡る行程で、各地域の自然、文 化、食、アクティビティを体験いただきました。

雲仙エリアの流れ

火山の恵みを体感する2日間を提供しました。雲仙ネイチャーセンターや定点で噴火の歴史を学び、本多木蝋工房では伝統の和蝋燭作りを体験。夜は天ぷら「香ふく」でのディナーや、観櫻火宴での松明行列を体験。翌朝はE-bikeで川と水田に沿って旅をし、小浜の温泉蒸しランチでは地元の調理文化に直に触れました。最終夜は雲仙の食材と技を結集した雲仙天幕レストランを堪能し地熱体験と星空観察で締めくくりました。

雲仙エリアにおける高評価ポイント

- ・物語性の秀逸さ:各体験が単独ではなく、地域全体の物語として有機的につながっている点。
- ・食体験の質の高さ:天幕レストラン、香ふく、山の上cafe、湯宿蒸気家での温泉蒸レランチなど、食を通じた地域の魅力発信。
- ・双方向性の豊富さ:本多木蝋、温泉蒸し、E-bikeなど、見るだけでなく体験できるコンテンツが高付加価値層に合致。
- ・ホストの情熱と質:ほぼすべてのアクティビティで「ガイドとホストの質」が満点評価を獲得。









今後の動き

日本の文化を育むためにも、地域の産業が手を取り合い"旅"の力で地域に大きな消費を促していくことが大切です。その大きな消費をしていただける可能性があるのが、日本の文化に興味を示している高付加価値外国人旅行者です。その思考や行動を理解していく活動を雲仙観光局として実施していきます。

第4回有明ベイサイドをもっと好きになるワーキングの様子

10月17日(金)に開催し、前半と後半に分かれ、有明ベイサイドエリアの資源を実際に直接見て実感する一日となりました。前半は、吾妻町にあるオリーブ園を訪問し、ナチュラルファーミング合同会社の稲田信忠さんから、オリーブ園誕生の秘話とこれまでの道のりをお聞きしました。稲田さんと仲間たちが手作りで育ててきたオリーブ園は、新たな有明ベイサイドエリアのテーマパークとして、地元の方や訪問者に愛される場所へと成長しています。後半は、吾妻中学校3年生の皆さんと共に、ポスターセッション方式で吾妻エリアの魅力を共有しました。中学生の素直な視点から語られる「吾妻の良いところ」を聞き、参加者それぞれが新たな発見をする時間となりました。

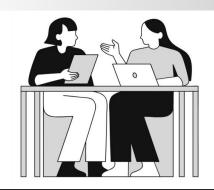
吾妻中学3年生と意見交換↓

オリーブ園の見学↑

次回は、12月19日(金) 13:30~ 愛野エリアにて開催いたします。

いよいよ、有明ベイサイドの魅力を集約していく段階です。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

雲仙観光局 よろず相談窓口



一般社団法人 雲仙観光局

お気軽にご相談ください

- ●とくに得意です
- 人と人をおつなぎする
- ·SNSの活用
- ・Googleのビジネス活用
- ●どんな相談ができるか
- ・観光や地域づくり
- ・SNSやWebまわり
- ・人材育成 など

予約フォーム→→→

次回出張窓口 11月11日(火)13~16時 国見・瑞穂エリア

お待ちしております



担当:地域営業部(堀口)

雲仙市観光マーケティングレポート 2025年10月号

UNZEN Destination Service

〒854-0621 雲仙市小浜町雲仙320番地 TEL:0957-73-3639 FAX:0957-73-3620

(公式URL) https://unzen-dmo.com (全員集合!雲仙ポータル) https://www.unzen-portal.jp/

【ご注意:本資料の転載・複製での利用について】

Find UNZEN 雲仙観光情報サイト | 自分らしい雲仙を見つける |

:資料は、一般社団法人 雲仙観光局の著作物であり、著作権法に基づき保護されています。 資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。事前に当局までご連絡ください。使用用途によって 、載・複製をご遠慮いただく場合もございます、予めご了承ください。

お問い合わせ先:雲仙観光局/フランティング・マーケティング部(担当:黒原・白濱・金澤) :資料は弊局が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、確実性を保証するもの:

な資料は弊局が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありませ 本資料を利用する場合にはお客さまのご判断でご利用ください。

